

## 平成30年度 保土ヶ谷高等学校 不祥事ゼロプログラムの検証等

### ○項目・目標別実施結果

項 目	目 標	実施結果と目標の達成状況
法令遵守意識の向上	公務外非行の根絶	○「法令遵守意識の向上（公務外非行の防止、職員行動指針の周知・徹底を含む）」について、校長・副校長・教頭より通知や資料を活用した研修等により情報の共有や注意喚起を行い、法令遵守に係る意識を向上させることができた。
わいせつ・セクハラ行為の防止	わいせつ・セクハラ行為の根絶 人権意識の向上	○「わいせつ・セクハラ行為の防止」について、校長・副校長・教頭より通知、資料、新聞記事等を活用して指示及び注意喚起を行うことができた。
体罰、不適切な指導の防止	生徒理解に基づく指導の推進、体罰・不適切指導の防止	○「体罰、不適切な指導の防止」について、生徒・保護者との信頼関係を重視した指導の推進に向けて、教頭より資料を活用して体罰の防止について注意喚起を行うとともに、全職員に対するアンケート調査により、意識啓発を行うことができた。
入学者選抜、成績処理及び進路関係書類の作成及び取扱いに係る事故防止	入学者選抜、成績処理及び進路関係書類の作成及び取扱いに係る事故の未然防止	○「成績処理及び進路関係書類の作成及び取扱いに係る事故防止について」校長・副校長・教頭より資料を活用したり、本校におけるヒヤリハット事案について情報共有したりした。 ○入学者選抜については、マニュアルを改訂するとともに研修を複数回実施することで業務内容や役割分担に関する意識や理解を深めることができた。
個人情報等の管理、情報セキュリティ対策	個人情報等の適切な管理及び情報セキュリティ対策の徹底	○「個人情報等の管理、情報セキュリティ対策（パスワードの設定、誤廃棄防止）」について、校外の研修会に参加した教頭及び総括教諭が全職員に報告を行い、意識啓発を行った。また、教務手帳をはじめ個人情報の取り扱いに関してルールの徹底を図った。
交通事故防止、酒酔い・酒気帯び運転防止、交通法規の遵守	交通事故防止及び交通法規の遵守	○「業務執行体制の確保等（情報共有、相互チェック体制、業務協力体制）」について、企画会議及びグループ会議等において業務執行体制の見直しを行った。また、ポスター掲示や通知・資料を活用した研修により情報の共有を図り、職員の意識を高めた。
業務執行体制の確保等	業務の効率化及び事故防止	○総括教諭による進行管理のもと、職員間による相互点検を行い事故防止に努める体制づくりに努めた。また、校内組織体制を点検し、業務の合理化を図った。
会計事務等の適正執行	会計事務等の適正執行及び不適切経理処理の防止	○「会計事務等の適正執行」について、私費会計事務処理の手引きをもとに、全職員に意識啓発するとともに、日常の会計処理業務において担当者への注意喚起を行い、事故防止に努めた結果、会計処理を適正に行うことができた。

## ○平成30年度不祥事ゼロプログラム全体の達成状況と平成31年度に取り組むべき課題

(学校長意見)

全項目について、職員打ち合わせや企画会議、職員会議前の事故防止会議において、校長・副校長・教頭が教育局発出の通知や資料、教育関係の不祥事に関する記事などを紹介し注意喚起することで、全職員が主体的に事故防止に向き合い、不祥事防止に努めるよう意識の徹底を図った。また、校長が全職員と個人面談を行うとともに、教職員一人ひとりが当事者意識を持つように働きかけた。

このような取組の結果、平成31年度において、不祥事ゼロプログラムは概ね達成することができたと考えている。近年、20名を超える教職員の移動が毎年あることを踏まえ、本校における不祥事防止に係る取組について、資料を効果的に活用したり、研修の効果を向上させたりするなどして継続的かつ計画的に不祥事防止に向けた意識啓発・周知・徹底を図る。